

米国ツイン・スターズ・ファンド — 予想分配金提示型 —

Aコース(為替ヘッジあり)
Bコース(為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版)

第12期 (決算日 2016年12月2日)
第13期 (決算日 2017年3月2日)

受益者のみなさまへ

平素は「米国ツイン・スターズ・ファンド—予想分配金提示型—Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第12期から第13期の決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都港区虎ノ門三丁目4番7号

<http://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉
サポートデスク 0120-565787
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信 / 海外 / 資産複合	
信託期間	平成25年12月27日から平成30年12月3日です。	
運用方針	この投資信託は、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国ツイン・スターズ・ファンド—予想分配金提示型—Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)	ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行い、アライアンス・バーンスタイン SICAV—セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズおよびアライアンス・バーンスタイン—アメリカン・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズを主要投資対象とします。
組入制限	米国ツイン・スターズ・ファンド—予想分配金提示型—Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)	株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年4回(3月、6月、9月、12月の各2日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。 ②収益分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

Aコース（為替ヘッジあり）

◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産額
		(分配落)	税金 分	込 配 み 金 期 騰 落 中 率		
第3作成期	(第4期) 2014年12月2日	10,228	200	1.2	100.2	2,642
	(第5期) 2015年3月2日	10,241	200	2.1	98.7	2,655
第4作成期	(第6期) 2015年6月2日	10,204	0	△0.4	100.8	2,479
	(第7期) 2015年9月2日	9,745	0	△4.5	94.4	2,084
第5作成期	(第8期) 2015年12月2日	10,042	0	3.0	97.4	2,028
	(第9期) 2016年3月2日	9,664	0	△3.8	98.1	1,782
第6作成期	(第10期) 2016年6月2日	10,037	0	3.9	99.2	1,657
	(第11期) 2016年9月2日	10,142	200	3.0	99.7	1,370
第7作成期	(第12期) 2016年12月2日	10,014	0	△1.3	106.9	1,089
	(第13期) 2017年3月2日	10,328	200	5.1	98.9	1,008

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

◎当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		投資信託証券組入比率
			騰 落	率	
第12期	(期首) 2016年9月2日	10,142	—	—	99.7
	9月末	10,054	△0.9	—	96.3
	10月末	10,043	△1.0	—	100.4
	11月末	10,058	△0.8	—	105.6
	(期末) 2016年12月2日	10,014	△1.3	—	106.9
第13期	(期首) 2016年12月2日	10,014	—	—	106.9
	12月末	10,227	2.1	—	110.1
	2017年1月末	10,291	2.8	—	109.1
	2月末	10,465	4.5	—	95.5
	(期末) 2017年3月2日	10,528	5.1	—	98.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

Bコース（為替ヘッジなし）

◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産額
		(分配落)	税金 分	込 配 み 金 期 騰 落 中 率		
第3作成期	(第4期) 2014年12月2日	11,569	400	14.4	99.3	19,039
	(第5期) 2015年3月2日	11,611	350	3.4	98.4	15,894
第4作成期	(第6期) 2015年6月2日	11,698	350	3.8	98.6	14,012
	(第7期) 2015年9月2日	10,531	250	△7.8	98.8	11,386
第5作成期	(第8期) 2015年12月2日	10,800	300	5.4	99.4	10,468
	(第9期) 2016年3月2日	9,695	0	△10.2	98.6	8,727
第6作成期	(第10期) 2016年6月2日	9,706	0	0.1	99.1	7,748
	(第11期) 2016年9月2日	9,504	0	△2.1	98.4	6,950
第7作成期	(第12期) 2016年12月2日	10,147	200	8.9	99.5	6,248
	(第13期) 2017年3月2日	10,446	250	5.4	98.6	5,661

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

◎当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		投資信託証券組入比率
			騰 落	率	
第12期	(期首) 2016年9月2日	9,504	—	—	98.4
	9月末	9,251	△2.7	—	98.8
	10月末	9,590	0.9	—	99.3
	11月末	10,272	8.1	—	97.4
	(期末) 2016年12月2日	10,347	8.9	—	99.5
第13期	(期首) 2016年12月2日	10,147	—	—	99.5
	12月末	10,587	4.3	—	98.7
	2017年1月末	10,441	2.9	—	99.0
	2月末	10,506	3.5	—	96.0
	(期末) 2017年3月2日	10,696	5.4	—	98.6

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式により、米国を中心とする株式等、および米ドル建ての公社債等に投資を行います。当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数は設けておりません。

Aコース（為替ヘッジあり）**◎投資信託証券の組入比率**

作成期	決算期	株式ファンド AB SICAV I Select US CL-S	債券ファンド AB FCP I American Income Portfolio CL-S
第3作成期	(第4期) 2014年12月2日	55.4	44.9
	(第5期) 2015年3月2日	50.9	47.9
第4作成期	(第6期) 2015年6月2日	51.9	48.8
	(第7期) 2015年9月2日	41.5	52.8
第5作成期	(第8期) 2015年12月2日	44.9	52.5
	(第9期) 2016年3月2日	39.6	58.4
第6作成期	(第10期) 2016年6月2日	44.7	54.5
	(第11期) 2016年9月2日	44.8	54.9
第7作成期	(第12期) 2016年12月2日	48.9	58.0
	(第13期) 2017年3月2日	49.8	49.1

(注)純資産総額比。

Bコース（為替ヘッジなし）**◎投資信託証券の組入比率**

作成期	決算期	株式ファンド AB SICAV I Select US CL-S	債券ファンド AB FCP I American Income Portfolio CL-S
第3作成期	(第4期) 2014年12月2日	54.9	44.5
	(第5期) 2015年3月2日	50.8	47.6
第4作成期	(第6期) 2015年6月2日	51.1	47.5
	(第7期) 2015年9月2日	43.5	55.3
第5作成期	(第8期) 2015年12月2日	45.8	53.6
	(第9期) 2016年3月2日	39.9	58.7
第6作成期	(第10期) 2016年6月2日	44.6	54.4
	(第11期) 2016年9月2日	44.2	54.2
第7作成期	(第12期) 2016年12月2日	45.6	53.9
	(第13期) 2017年3月2日	49.3	49.3

(注)純資産総額比。

※米国ツイン・スターズ・ファンド ー 予想分配金提示型 ー は、アライアンス・バーンスタイン SICAVーセレクトUSエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ：株式ファンド（以下「米国セレクト」と言うことがあります）およびアライアンス・バーンスタイン ー アメリカン・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ：債券ファンド（以下「アメリカン・インカム」と言うことがあります）に投資しております。

※AB SICAV I Select US CL-Sは米国セレクト、AB FCP I American Income Portfolio CL-Sはアメリカン・インカムです。

◎ 当作成期中の運用経過と今後の運用方針 (2016年9月3日～2017年3月2日)

1 基準価額と収益分配金

[Aコース (為替ヘッジあり)]

(1) 基準価額の推移と主な変動要因

当作成期の基準価額の推移



※分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものと算出しております。

基準価額は作成期首10,142円で始まり作成期末10,328円で終わりました。騰落率 (分配金再投資ベース) は、+3.8%でした。

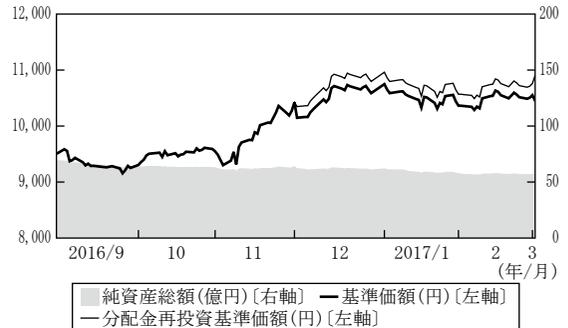
基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

組み入れている投資信託証券 (米国セレクトならびにアメリカン・インカム) の基準価額がともに上昇したことで基準価額は上昇しました。

[Bコース (為替ヘッジなし)]

(1) 基準価額の推移と主な変動要因

当作成期の基準価額の推移



※分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものと算出しております。

基準価額は作成期首9,504円で始まり作成期末10,446円で終わりました。騰落率 (分配金再投資ベース) は、+14.8%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

組み入れている投資信託証券 (米国セレクトならびにアメリカン・インカム) の基準価額がともに上昇したことに加えて、米ドルが円に対して上昇 (円安・米ドル高) したことで基準価額は上昇しました。

(2) 収益分配金

- ・「Aコース（為替ヘッジあり）」、「Bコース（為替ヘッジなし）」の収益分配金は、基準価額の水準等を勘案した結果、次表の通りとなりました。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

〔Aコース（為替ヘッジあり）〕

分配原資の内訳（単位：円・%、1万口当たり、税引前）

項目	第12期 2016年9月3日 ～2016年12月2日	第13期 2016年12月3日 ～2017年3月2日
当期分配金	—	200
（対基準価額比率）	—	1.900
当期の収益	—	200
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	278	464

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

〔Bコース（為替ヘッジなし）〕

分配原資の内訳（単位：円・%、1万口当たり、税引前）

項目	第12期 2016年9月3日 ～2016年12月2日	第13期 2016年12月3日 ～2017年3月2日
当期分配金	200	250
（対基準価額比率）	1.933	2.337
当期の収益	—	0
当期の収益以外	200	249
翌期繰越分配対象額	947	697

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

2 運用経過

(1) 運用概況

作成期首の運用方針に基づき、米国セレクトおよびアメリカン・インカムを主要投資対象としました。各投資対象を通じて、米国を中心とする金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式等および米ドル建の国債、政府機関債、投資適格社債、ハイイールド社債、新興国債券、資産担保証券等に投資しました。当作成期を通じて、組入投資信託証券への組入比率を高位に維持しました。また、「Aコース（為替ヘッジあり）」については円を対貨とする為替リスクに対するヘッジを行いました。組入投資信託証券の運用および組入比率の助言は、アライアンス・バーンスタインが行っています。

当作成期の各組入投資信託証券の組入比率はアライアンス・バーンスタイン独自のリスク指標等を総合的に勘案し、作成期間を通じてアメリカン・インカムの組入比率を米国セレクトより高めとしましたが、作成期末には中立としそれぞれ50%ずつへ変更しました。（組入比率については、前掲の◎投資信託証券の組入比率をご参照下さい。）

(2) 米国セレクトの運用概況（2016年9月3日～2017年3月2日）

作成期首の運用方針に基づき、米国を中心とする金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式（米国預託証書（ADR）を含みます）に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。

当作成期は、業種別においては米国新政権によるインフラ投資への期待から資本財・サービスと、足元の株価調整により割安度の高まったヘルスケアの組入比率を高めた一方で、作成期首に組入上位業種であった情報技術、金融の組入比率を引き下げました。個別銘柄においては、資本財・サービスのハネウェルインターナショナルの組入比率を引き上げた一方で、ユニテッド・テクノロジーズをすべて売却いたしました。

組み入れていた銘柄の株価が上昇した結果、米国セレクトの基準価額は上昇しました。

基準価額の変動にプラスに寄与した銘柄、マイナスに影響した銘柄は以下の通りです。

(プラスに寄与した銘柄)

- ・ハネウェルインターナショナル、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー、バンク・オブ・アメリカ、ノースロップ・グラマン

(マイナスに影響した銘柄)

- ・CVSヘルス、ジンマー・バイオメット・ホールディングズ、オキシデンタル・ペトリウム、ユナイテッド・テクノロジーズ、ニューウェル・ブランズ

当作成期末より直近のポートフォリオの状況は次の通りです。

【組入上位10銘柄】 (2017年2月末)

銘柄名	業種(GICS分類)	組入比率
アルファベット	情報技術	4.6%
ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	4.3%
ジョンソン・エンド・ジョンソン	ヘルスケア	4.2%
USバンコープ	金融	4.2%
ノースロップ・グラマン	資本財・サービス	4.1%
JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	金融	3.4%
ゴールドマン・サックス・グループ	金融	3.2%
マイクロソフト	情報技術	2.8%
ネクステラ・エナジー	公益事業	2.8%
ノーフォーク・サザン	資本財・サービス	2.6%

※組入比率は組入有価証券に対する比率です。

(3) アメリカン・インカム の運用概況 (2016年9月3日～2017年3月2日)

作成期首の運用方針に基づき、米ドル建ての公社債等に投資し、元本の維持を図りながら、インカム収入の獲得を目指して運用を行いました。

当作成期は、米国長期金利が上昇基調で推移する中、米国国債の組入比率を引き上げた一方で、高利回り社債の組入比率を引き下げました。また、米国国債においては景気の回復力は強いとの見方から、インフレ連動債券を選好しました。

保有債券の利息収入が積み上がった結果、アメリカン・インカムの基準価額は上昇しました。

当作成期末より直近のポートフォリオの状況は次の通りです。

【種類別組入比率】 (2017年2月末)

種類	組入比率
米国国債	36.1%
高利回り社債	18.9%
エマージング債	10.9%
モーゲージ担保証券	10.4%
商業用不動産担保証券	9.2%
投資適格社債	6.0%
連邦政府機関債	5.8%
その他	2.8%

※組入比率は組入有価証券に対する比率です。

3 今後の運用方針

(1) 当ファンドの運用方針

引き続き、米国セレクトおよびアメリカン・インカムを主要投資対象とします。組入投資信託証券の組入比率は高位を維持します。また、「Aコース（為替ヘッジあり）」については円を対貨とする為替リスクに対するヘッジを行います。組入投資信託証券の運用および組入比率の助言は、アライアンス・バーンスタインが行います。

組入比率については当面、米国セレクト、アメリカン・インカムは中立としそれぞれ50%といたします。

(2) 米国セレクトの運用方針

引き続き、米国を中心とする金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式（米国預託証券（ADR）を含みます）に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

銘柄選択に際し、景気敏感セクターである金融セクター、情報技術セクターに加え、ディフェンシブ性と成長性を兼ね備えるヘルスケアセクターを選好します。

(3) アメリカン・インカムの運用方針

引き続き、米ドル建ての公社債等に投資し、元本の維持を図りながら、インカム収入の獲得を目指して運用を行います。

社債などクレジット市場の債券と米国債との配分に留意し、デュレーションや利回り曲線の形状にも着目します。米国債などの高格付け債券に加え、相対的に割安と考えられる高利回り債券・新興国債券も引き続き吟味しながら投資します。モーゲージ担保証券においては魅力的な利回りの発掘に努めます。

Aコース（為替ヘッジあり）

◎1万口当たりの費用明細

項目	第12期～第13期		項目の概要
	2016年9月3日～2017年3月2日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	104円	1.018%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は10,189円です。
(投信会社)	(61)	(0.600)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(41)	(0.402)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.006	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	105	1.024	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

◎売買及び取引の状況(2016年9月3日～2017年3月2日)

○投資信託証券

		第 12 期 ～ 第 13 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	(アメリカ) AB SICAV I Select US CL-S	2,324	千米ドル 70	71,317	千米ドル 2,060
	AB FCP I American Income Portfolio CL-S	—	—	168,868	2,950
合 計		2,324	70	240,186	5,010

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

◎利害関係人との取引状況等(2016年9月3日～2017年3月2日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	第6作成期末		第7作成期末		比率
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
株式ファンド (アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
AB SICAV I Select US CL-S	208,077	139,084	4,402	501,831	49.8
債券ファンド (アメリカ)					
AB FCP I American Income Portfolio CL-S	415,695	246,827	4,346	495,515	49.1
合計	623,772	385,911	8,748	997,346	98.9

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

◎投資信託財産の構成

2017年3月2日現在

項目	第7作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	495,515	47.5
投資証券	501,831	48.1
コール・ローン等、その他	45,243	4.4
投資信託財産総額	1,042,589	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建純資産(997,346千円)の投資信託財産総額(1,042,589千円)に対する比率は95.7%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=114.00円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2016年12月2日現在 2017年3月2日現在

項目	第12期末	第13期末
(A) 資産	2,252,215,474円	2,019,459,658円
コール・ローン等	14,724,994	8,548,928
投資信託受益証券(評価額)	631,680,955	495,515,218
投資証券(評価額)	532,725,225	501,831,451
未収入金	1,073,084,300	1,013,564,061
(B) 負債	1,162,856,241	1,010,934,941
未払金	1,149,904,600	979,798,000
未払収益分配金	-	19,530,811
未払解約金	7,011,200	6,187,780
未払信託報酬	5,922,632	5,402,474
その他未払費用	17,809	15,876
(C) 純資産総額(A-B)	1,089,359,233	1,008,524,717
元本	1,087,887,463	976,540,581
次期繰越損益金	1,471,770	31,984,136
(D) 受益権総口数	1,087,887,463口	976,540,581口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,014円	10,328円

◎損益の状況

[自 2016年9月3日] [自 2016年12月3日]
[至 2016年12月2日] [至 2017年3月2日]

項目	第12期	第13期
(A) 配当等収益	-円	353円
受取利息	-	353
(B) 有価証券売買損益	△ 7,924,982	55,580,877
売	132,488,271	165,505,618
買	-	-
売	△140,413,253	△109,924,741
(C) 信託報酬等	△ 5,964,032	△ 5,427,432
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 13,889,014	50,153,798
(E) 前期繰越損益金	16,006,813	1,898,294
(F) 追加信託差損益金	△ 646,029	△ 537,145
(配当等相当額)	(14,273,820)	(12,833,609)
(売買損益相当額)	(△ 14,919,849)	(△ 13,370,754)
(G) 計(D+E+F)	1,471,770	51,514,947
(H) 収益分配金	0	△ 19,530,811
次期繰越損益金(G+H)	1,471,770	31,984,136
追加信託差損益金	△ 646,029	△ 537,145
(配当等相当額)	(14,273,820)	(12,833,609)
(売買損益相当額)	(△ 14,919,849)	(△ 13,370,754)
分配準備積立金	16,006,813	32,521,281
繰越損益金	△ 13,889,014	-

(注1) 当ファンドの第12期首元本額は1,351,640,686円、第12～13期中追加設定元本額は16,733,799円、第12～13期中一部解約元本額は391,833,904円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第12期1.0014円、第13期1.0328円です。

(注3) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注4) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注5) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注6) 第12期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(14,273,820円)および分配準備積立金(16,006,813円)より分配対象収益は30,280,633円(10,000口当たり278円)ですが、当計算期間に分配した金額はありません。

第13期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(353円)、費用控除後の有価証券等損益額(37,704,007円)、信託約款に規定する収益調整金(12,833,609円)および分配準備積立金(14,347,732円)より分配対象収益は64,885,701円(10,000口当たり664円)であり、うち19,530,811円(10,000口当たり200円)を分配金額としております。

Bコース（為替ヘッジなし）

◎1万口当たりの費用明細

項目	第12期～第13期		項目の概要
	2016年9月3日～2017年3月2日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	103円	1.018%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は10,107円です。
(投信会社)	(61)	(0.600)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(41)	(0.402)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.004	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	103	1.022	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注5) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

◎売買及び取引の状況(2016年9月3日～2017年3月2日)

○投資信託証券

		第 12 期 ～ 第 13 期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	(アメリカ) AB SICAV I Select US CL-S	16,605	500	285,145	8,270
	AB FCP I American Income Portfolio CL-S	—	—	691,214	12,040
合 計		16,605	500	976,360	20,310

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

◎利害関係人との取引状況等(2016年9月3日～2017年3月2日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	第6作成期末		第7作成期末		比率
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
株式ファンド (アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
AB SICAV I Select US CL-S	1,042,160	773,620	24,485	2,791,300	49.3
債券ファンド (アメリカ)					
AB FCP I American Income Portfolio CL-S	2,081,166	1,389,951	24,477	2,790,383	49.3
合計	3,123,327	2,163,572	48,962	5,581,684	98.6

(注1) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

◎投資信託財産の構成

2017年3月2日現在

項目	第7作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	2,790,383	47.7
投資証券	2,791,300	47.7
コール・ローン等、その他	267,626	4.6
投資信託財産総額	5,849,309	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建純資産(5,581,684千円)の投資信託財産総額(5,849,309千円)に対する比率は95.4%です。

(注3) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1米ドル=114.00円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2016年12月2日現在 2017年3月2日現在

項目	第12期末	第13期末
(A) 資産	6,416,965,257円	5,849,309,632円
コール・ローン等	84,994,394	96,625,308
投資信託受益証券(評価額)	3,366,365,510	2,790,383,380
投資証券(評価額)	2,851,895,353	2,791,300,944
未収入金	113,710,000	171,000,000
(B) 負債	168,284,393	187,945,791
未払収益分配金	123,159,723	135,486,157
未払解約金	12,223,180	22,083,810
未払信託報酬	32,806,058	30,287,668
その他未払費用	95,432	88,156
(C) 純資産総額(A-B)	6,248,680,864	5,661,363,841
元本	6,157,986,193	5,419,446,289
次期繰越損益金	90,694,671	241,917,552
(D) 受益権総口数	6,157,986,193口	5,419,446,289口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,147円	10,446円

◎損益の状況

[自 2016年9月3日] [自 2016年12月3日]
[至 2016年12月2日] [至 2017年3月2日]

項目	第12期	第13期
(A) 配当等収益	-円	2,804円
受取利息	-	2,804
(B) 有価証券売買損益	551,800,254	326,501,238
売買益	636,579,322	344,091,897
売買損	△ 84,779,068	△ 17,590,659
(C) 信託報酬等	△ 32,928,612	△ 30,405,259
(D) 当期損益金(A+B+C)	518,871,642	296,098,783
(E) 前期繰越損益金	△ 404,910,864	△ 7,999,963
(F) 追加信託差損益金	99,893,616	89,304,889
(配当等相当額)	(151,933,877)	(138,200,958)
(売買損益相当額)	(△ 52,040,261)	(△ 48,896,069)
(G) 計(D+E+F)	213,854,394	377,403,709
(H) 収益分配金	△ 123,159,723	△ 135,486,157
次期繰越損益金(G+H)	90,694,671	241,917,552
追加信託差損益金	99,893,616	89,304,889
(配当等相当額)	(151,933,877)	(138,200,958)
(売買損益相当額)	(△ 52,040,261)	(△ 48,896,069)
分配準備積立金	431,305,648	239,606,307
繰越損益金	△ 440,504,593	△ 86,993,644

(注1)当ファンドの第12期首元本額は7,312,665,879円、第12～13期中追加設定元本額は94,217,203円、第12～13期中一部解約元本額は1,987,436,793円です。

(注2)1口当たり純資産額は、第12期1,0147円、第13期1,0446円です。

(注3)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注4)損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注5)損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注6)第12期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(151,933,877円)および分配準備積立金(554,465,371円)より分配対象収益は706,399,248円(10,000口当たり1,147円)であり、うち123,159,723円(10,000口当たり200円)を分配金額としております。

第13期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,804円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(138,200,958円)および分配準備積立金(375,089,660円)より分配対象収益は513,293,422円(10,000口当たり947円)であり、うち135,486,157円(10,000口当たり250円)を分配金額としております。

◎収益分配金のお知らせ

Aコース（為替ヘッジあり）

決 算 期	第12期	第13期
1 万 口 当 たり の 分 配 金	0円	200円

Bコース（為替ヘッジなし）

決 算 期	第12期	第13期
1 万 口 当 たり の 分 配 金	200円	250円

※分配金をお支払いする場合

分配金は、各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

※分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

《組入投資信託証券の内容》

当ファンドの運用報告書作成時点において入手可能な直前計算期間の年次報告書（または半期報告書）をもとに組入投資信託証券の組入資産明細表および損益の状況を作成、掲載しております。なお、当ファンドは「アライアンス・バーンスタイン SICAVー セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ」および「アライアンス・バーンスタイン ー アメリカン・インカム・ポートフォリオ・クラスSシェアーズ」に投資しておりますが、次頁の内容は各投資信託証券における全てのクラスを合算しております。

アライアンス・バーンスタイン SICAVー セレクトUSエクイティ・ポートフォリオ
--

◎組入資産明細表

組入上位10銘柄

2016年11月30日現在

	銘柄名	業種	組入比率 (%)
1	USバンコープ	金融	9.0
2	ハネウェルインターナショナル	資本財・サービス	6.5
3	アルファベット	情報技術	4.9
4	ファイザー	ヘルスケア	3.8
5	アップル	情報技術	2.5
6	ノースロップ・グラマン	資本財・サービス	2.5
7	マイクロソフト	情報技術	2.2
8	パークシャー・ハサウェイ	金融	2.2
9	バンク・オブ・アメリカ	金融	2.0
10	ネクステラ・エナジー	公益事業	2.0

(注)組入比率は組入有価証券に対する比率です。

◎損益の状況(自2016年6月1日 至2016年11月30日)

(単位:米ドル)

配当金・利息等 (A)	31,296,942
利息	117,975
配当金	31,083,210
有価証券貸付収益	95,757
費用 (B)	△ 27,575,561
管理報酬※	△ 24,743,871
名義書換代行報酬	△ 632,786
税金	△ 719,232
専門家報酬	△ 248,295
管理会社報酬	△ 732,666
保管報酬	△ 157,075
会計および管理事務代行報酬	△ 203,654
印刷費	△ 32,354
支払い利息	△ 1,825
その他	△ 103,803
(A) + (B)	3,721,381
売買損益等	170,943,888
有価証券等売買損益	158,996,787
有価証券等評価損益	11,947,101
当期損益	174,665,269

※上記の損益の状況は、アライアンス・バーンスタインSICAVーセレクトUSエクイティ・ポートフォリオ全体の数値です。米国ツイン・スターズ・ファンドが組み入れるクラスSシェアーズにおいては、管理報酬はありません。

アライアンス・バーンスタイン ー アメリカン・インカム・ポートフォリオ

◎組入資産明細表

組入上位10銘柄

2016年8月31日現在

	銘柄名	利率 (%)	償還日	組入比率 (%)
1	米国国債	8.000	2021年11月15日	9.0
2	米国国債	6.125	2027年11月15日	4.4
3	米国国債	2.250	2024年11月15日	4.0
4	米国国債	5.250	2028年11月15日	3.9
5	米国国債	8.125	2021年5月15日 2021年8月15日	3.2
6	ファニーメイ	6.625	2030年11月15日	2.9
7	米国国債	8.750	2020年8月15日	2.4
8	米国国債	7.125	2023年2月15日	2.2
9	米国国債	1.625	2020年7月31日 2020年11月20日	1.9
10	米国国債	2.000	2022年7月31日	1.9

(注)組入比率は組入有価証券に対する比率です。

◎損益の状況(自2015年9月1日 至2016年8月31日)

(単位:米ドル)

配当金・利息等 (A)	495,526,348
利息	439,165,890
配当金	3,700,621
スワップ収益	52,659,837
費用 (B)	△114,904,779
管理報酬※	△ 78,181,504
販売報酬※	△ 6,809,910
管理会社報酬	△ 6,919,970
名義書換代行報酬	△ 4,090,291
スワップに係る費用	△ 13,619,354
税金	△ 3,709,216
専門家報酬	△ 323,193
保管報酬	△ 536,632
会計および管理事務代行報酬	△ 217,425
印刷費	△ 40,012
その他	△ 457,272
(A) + (B)	380,621,569
売買損益等	203,476,806
有価証券等売買損益	△ 53,564,560
有価証券等評価損益	257,041,366
当期損益	584,098,375

※上記の損益の状況は、アライアンス・バーンスタインーアメリカン・インカム・ポートフォリオ全体の数値です。米国ツイン・スターズ・ファンドが組み入れるクラスSシェアーズにおいては、管理報酬、販売報酬はありません。